



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



後期後半 - 進学・進級に向かって -

後期後半（1～3月）は、期間も短く、学習内容も、習熟や定着の内容が多くなります。また、季節性インフルエンザの予防にも、引き続き注意を払っていかねばなりません。

まず冬休み明けには、子どもたちが今の自分をしっかりと見つめ直し、これまでの自分の成長を自覚し、今後取り組むべき課題を明確にしていきたいと思います。目指すべき自分の姿を、文字や言葉で言語化させ、進学や進級に繋げていきます。その目標に向かって計画をたて、努力を重ねていけるよう、一人一人の背中を後押ししていきます。

来たるべき春、進学進級に向けて、やる気と喜びに満ちた毎日がすごせるように、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



【3学期の指導の重点】

- ① **当該学年の学習内容をまとめ、定着を図る。**
 - ・カリキュラムの完全消化 ・3月余裕授業時数の有効活用（思考力・判断力・表現力の強化）
 - ・クロームブックの利活用（隙間時間での知識技能の習熟、家庭への持ち帰り）
- ② **学年に応じた生活習慣や規範意識、社会的行動を身に付けさせる。**
 - ・将来の自己実現に向けて必要な資質能力、自己指導力の育成（自己存在感を与え、共感的な人間関係の育成を図る）
 - ・集団の一員としての自覚と責任感、他者との協調性の育成（規範意識や社会的行動の指導）
- ③ **感染症対策の徹底を図る。児童の意識を高め、行動につなげる。**
 - ・感染症対策の取組を継続させる。（手洗い、消毒、マスク、教室の換気等）
 - ・健康的な体作りに取り組む。（徒歩による登校、縄跳び、ジョギング、外遊び等の推奨）
 - ・健康管理の徹底（栄養バランスのとれた食事、睡眠時間と質の確保、メディアは時間を決めて、気温に応じた衣服の調節、排便等、ご家庭のご協力をお願いします。）
- **いじめを起こさせない指導実践**
 - ・子どもたちの個の力を伸ばし、高める。
「自分の気持ちを言葉で表す力」「自分をコントロールする力」「自分で決定する力」
「問題に気づいて解決しようとする力」「人の話を聴く力」「相手の表情や態度を読み解く力」
等の育成を図ります。ひあっしーが持つ**6つの能力**と直結した力です。
 - ・学級経営の充実
教師と児童、児童同士に温かい絆（愛着、信頼、関わり）がある、一人一人居場所がある

大谷翔平選手からグローブのプレゼント

暮れに、3つのグローブが届きました。
冬休み明け集会で、子どもたちに紹介しました。
みんな、目を輝かせてグローブを見つめていましたよ。「大谷選手、ありがとう。」



1月の生活目標 規則正しく、健康的に生活しよう(自律)

- 早やね、早起き、朝ご飯を心がけよう。
- 屋休みには、外で元気に遊ぼう。
- よい言葉づかいをし、相手の気持ちを考えよう。
- うがい、手洗いを実践しよう。

きまりやルールを守って自分勝手にしない。
決めたら最後までやり通す。



自分にきびしく



学校給食週間 24~30日

食と子どもたちの健やかな成長について考えていきます。

- 9日(火) 冬休み明け集会
- 16日(火) 児童集会(給食集会)
- 18日(木)~26日(金) 個人面談
- 20日(土) 市PTA研究大会
- 22日(月) クラブ(3年クラブ見学)
- 30日(火) 児童集会(学習)

よく光る 高嶺の星や
寒の入り
村上鬼城

『こ食』今の子ども達や家庭の食生活の課題を表した言葉

- 「孤食」** = 家族が不在の食事ではひとりて食べること
・好き嫌いを増やす ・発育に必要な栄養が足りない ・社会性、協調性の育成に課題がある
- 「個食」** = 家族がそれぞれ自分の好きな物を食べること
・好き嫌いを増やす、栄養の偏り ・協調性がなく、わがままになりやすい
・他人の意見を聞かない
- 「固食」** = 自分の好きな決まった物しか食べないこと
・栄養の偏り ・肥満、生活習慣病を増やす ・キレやすい ・わがままになりやすい
- 「小食」** = いつも食欲がなく、食べる量も少ないこと
・発育に必要な栄養が足りない ・栄養の偏り ・無気力を生む
- 「粉食」** = 粉製品を主食として好んで食べること
・エネルギー(カロリー)が高い ・噛む力が弱い
- 「濃食」** = 味の濃い物を好んで食べること
・塩分や糖分過多による、味覚が鈍感になる恐れ ・肥満、生活習慣病を増やす



【風邪の予防・栄養バランスのよい食事】

風邪をひくとエネルギーの消費は高まるのに対し、食欲や、消化・吸収の低下が見られます。ウイルスに対する抵抗力、免疫力を高めるビタミン、ミネラルを十分にとり、バランスの良い食事を摂ることが大切です。

- ◎ビタミンA (ほうれん草、人参、カボチャ等、鶏卵、チーズ)、
- ◎ビタミンC (みかん、ブロッコリー、芋類)、
- ◎ビタミンB1 (豚肉、魚介、大豆製品)、
- ◎タンパク質 (肉、卵、乳製品、大豆等)

